平成29年第1回尾張旭市環境審議会会議録

1 開催日時

平成29年3月17日(木)

開会 午前10時00分

閉会 午前11時55分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 講堂2

3 出席委員

伊豆原 浩二、岡村 聖、藤井 政勝、松本 哲男、野町 純子、大塚 宏子、
廣瀬 逸男、藤沢 秀人、高橋 賢一、松岡 里枝 10名

4 欠席委員

野呂 敬、成田 充弘 2名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

環境課長補佐兼環境保全係長 山田 祐司、環境課長補佐兼ごみ減量係長
川本 英貴、環境課環境政策係長 小久保 俊幸、環境課主事 堀部 真司

7 報告事項

- (1) 平成28年度環境基本計画年次報告書について
- (2) 平成29年度重点取り組み事項について

8 会議の要旨

環境課長補佐 山田	<p>皆さんこんにちは。環境課長補佐の山田でございます。定刻となりましたので、ただいまから「平成29年第1回尾張旭市環境審議会」を開催させていただきます。</p> <p>環境課長の石坂につきましては、本日急用のため、欠席させていただきます。</p> <p>それでは、開催に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>はじめに、表紙に「平成29年第1回尾張旭市環境審議会会議次第」と書かれた資料が一枚。</p> <p>続いて、「平成28年第2回尾張旭市環境審議会意見対応内容」というタイトルの資料が一枚。</p> <p>そして、「平成29年度重点取り組み事項」というタイトルの資料一枚につきましては、資料説明の都合上、発送後に一部修正を行いましたので、机の上に置いてあります資料と差し替えをお願いいたします。</p> <p>そして、右上に「参考①」「参考②」「参考③」「参考④」と書か</p>
--------------	---

れた資料がそれぞれ一枚。

最後に、机上に「尾張旭市環境審議会委員名簿」が一枚。

以上、8枚の資料となりますが、お手元にごございますでしょうか。

【資料確認】

また、本日はこちらの「尾張旭市環境基本計画【中間見直し版】」の冊子及び「平成28年度環境基本計画年次報告書」もお持ちいただくようお願いしましたが、もしお持ちでない場合は、こちらでご用意しておりますので、お申し出ください。

【資料確認】

以上の資料を使用しまして、本日の審議を進めさせていただきたいと思います。

それでは、ただいまご確認いただいた資料のうちの「尾張旭市環境審議会委員名簿」をご覧いただきたいと思います。

本審議会の委員の名簿でございますが、本日は、野呂委員及び成田委員が欠席でございますので、委員12名のうち10名の方が出席されております。これにより、尾張旭市環境審議会規則第3条第2項で規定する過半数の出席を得ており、会議は有効に成立しておりますので、まずもってご報告申し上げます。

続いて、本日出席の事務局職員は名簿裏面のとおりでございます。

以上の出席者により、本日の審議会を進めてまいりたいと思いますので、なにとぞよろしくお願ひいたします。

それでは、早速ですが、議事に移らせていただきたいと思ひます。

本日は、昨年11月にご審議いただきました「平成28年度尾張旭市環境基本計画年次報告書」に対し市民のみなさんからご意見があれば、そのご意見に対する市の考え方について審議をする予定でしたが、ご意見はありませんでしたので、報告事項のみとなります。報告事項につきましては、「平成28年度尾割旭市環境基本計画年次報告書について」と「平成29年度重点取り組み事項について」の2点でございます。

進行につきましては、当審議会の議長であります伊豆原会長にお願ひしたいと思います。伊豆原会長、よろしくお願ひします。

議長

皆さんこんにちは。本日はご多忙のところ、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。

さて、ただいま説明がありましたとおり、本日は「報告事項」が2点、事務局より提出されております。

前回のような「諮問」に対する「答申」について審議する場ではなく、事務局からの報告事項に対してご意見を頂戴する場、皆さまからの様々なアイデアを出していただく会でございますので、ざっくばらんに気軽な形で意見交換などができればと考えておりますので、よろしくお願いします。

それでは、はじめに「平成28年度尾張旭市環境基本計画年次報告書」について、事務局から説明をお願いします。

環境政策係長

それでは、報告事項の1「平成28年度環境基本計画年次報告書」についてご説明させていただきます。

こちらの「平成28年度環境基本計画年次報告書」につきましては、前回の環境審議会の際に皆さんからご意見をいただき、そのご意見をもとに一部変更等の対応を行ったところでございます。対応内容につきましては、環境審議会後に皆さんへ通知を送ったところですが、今回はその意見と対応内容について「平成28年第2回尾張旭市環境審議会意見対応内容」を使って説明させていただき、随時、実際の年次報告書の変更箇所をお示しし確認していただきます。

それでは「平成28年第2回尾張旭市環境審議会意見対応内容」をご覧ください。1点目の意見として、年次報告書が今後の取り組みを改善するためのものだとわかるように、表紙にその旨の記載があったほうがよい。という意見がございました。こちらへの対応ですが、副題に今後の取り組みに向けて」との記載を加えました。年次報告書表紙をご覧ください。副題を追記しております。

2点目の意見として、年次報告書3ページの「Ⅱ 平成27年度の実績と現在の進捗状況」の1につきまして、変更前は「「施策」の目標達成度を示す「指標」の状況」としておりましたが、評価対象は平成24年度の数値としており、平成35年度の長期目標に対する評価ではないため、「目標達成」という記述は違うのではないかと。という意見がございました。こちらへの対応としまして、「「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の状況」という文言に修正をしました。年次報告書3ページ上段をご覧ください。1「「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の状況」と表記しております。

3点目の意見として、同じく3ページの指標の評価方法について、変更前は5パーセント以内の数値の悪化は誤差の範囲として三角の評価とすることをご提案しておりましたが、このような評価をする場合は、改善された数値についても誤差を取るべきではないかという意見がございました。このことへの対応としまして、誤差を

とる指標はアンケートにより数値を取得する指標のみとし、その誤差については、基準値からプラスマイナス2.5パーセントの範囲としました。年次報告書3ページ上段本文の6行目をご覧ください。アンケート指標について±2.5%の範囲を△と評価する旨を記載しております。

4点目の意見として、5ページ上段のグラフ中の浮遊粒子状物質の単位が漢字で表記されているが、これを変更したほうがよいという意見がございました。このことから、単位の表記を変更いたしました。年次報告書5ページ上段のグラフ凡例をご覧ください、表示を変更しております。

5点目の意見として、施策内容と評価状況を見やすくした方がよいという意見がありました。このことについて、「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」への評価である○△×は、年次報告書3ページにまとめて記載しているのみでしたが、6ページ以降についても、「指標」の推移に評価の表示を加えることとしました。年次報告書5ページ中ほどの指標例をご覧ください。表の右端に評価の項目を追加しております。

最後に6点目の意見として、主な「みんなの取り組み」の状況として掲載されていることが、昔から継続して行っていることか、最近始めたことかがわからないという意見がございました。このことから、主な「みんなの取り組み」の状況として掲載されているそれぞれの事業について、27年度以降に新たに実施した取り組みは（新）、26年度以前から継続して実施している取り組みは（継）と文末に記載するよう変更いたしました。年次報告書5ページ下段の「みんなの取り組み」例をご覧ください。右側の取組状況説明文の文末に追記しております。

ご意見への対応については以上となりますが、ほかに変えたほうが良い点や、お気づきの点がございましたら、「29年度環境基本計画年次報告書」を作成する際の参考とさせていただきますので、ぜひご意見をお聞かせください。

説明は以上です。

議長

ただいま事務局から、「平成28年度尾張旭市環境基本計画年次報告書」についての報告がありました。

事務局のお話のとおり、変更後の年次報告書をご欄になって、お気づきになられた点やもっとうしたほうがよいということがございましたら、ぜひともご発言いただきたいと思います。それではまず私から意見があります。年次報告書には今回継続事業と新規事業を掲載してありますが、継続事業をずっと掲載していると、報告書の内

	容量が増えるばかりになってしまいますので、市民の皆さんに十分浸透したと考えられる事業や、ほとんど完了している事業などは掲載しないという判断基準を考えるといいと思います。
環境政策係長	おっしゃるとおり、このまま継続事業を掲載し続けると、その量が膨大となってしまいますので、10年以上続いている事業や市民の皆さんに十分浸透した事業などは、事業自体は続けますが、年次報告書への掲載はやめる等、次回報告書作成の際に検討いたします。
議長	もう1点は、新規事業は文末に（新）と記載がありますが、字体の変更や文字を太くするなど、一目でわかるようにするとよいかと思います。
高橋委員	年次報告書の周知をしたいと考えていますが、どこにどれだけ年次報告書が置いてあるのかわからないので、このことをもっと周知すると良いと思います。
環境政策係長	多くは印刷ができないため、基本はホームページに掲載している年次報告書をダウンロードしていただくこととなりますが、設置している公共施設の周知を進めたいと思います。
藤沢委員	ホームページに公開していることの周知は行っていますか。 もし周知をしていないのであれば、広報にこのことを掲載するなど、手順を踏む必要があると思います。
環境政策係長	今回はそのような周知方法も検討したいと思います。
松本委員	お年寄りのかたはホームページをあまり見ないかと思います。また、若いのかたはホームページを見ることができるとは思いますが、閲覧板は見ないかと思います。両者それぞれ見るものが違うかと思いますが、両者へ周知をしていくことが必要かと思います。また、最近はパソコンからではなくスマートフォンを利用するかたも増えているかと思いますが、スマートフォンで市のホームページは見ることができるとは思いますが、
環境政策係長	一般的にスマートフォンと呼ばれるものであれば、パソコンで閲覧できる画面を見ることができます。
松本委員	確かにそうかもしれませんが、パソコン対応のページをそのまま閲覧するよりも、スマートフォン対応でページを作りなおすと全然見やすさが違うかと思います。 例えば、私どもが管理している森林公園のページは以前パソコン対応のページでしたが、これをスマートフォン対応のページにしたことでイベントの参加者に若いかたが増えました。このことから、スマートフォン対応にしたことで若いかたが森林公園のページを閲覧してくれたのだと思いました。

議長	<p>スマートフォンにどう対応していくのかは、年次報告書だけの話ではなく、市全体で考えないといけない話だと思います。</p> <p>また、見やすさという観点ですと、この年次報告書は子どもからすると難しい内容だと思いますので、一部を抜粋して子どもがわかる内容のものを別で作成することも検討したら良いと思います。</p>
廣瀬委員	<p>年次報告書を見た感想ですが、若い人が実施している取組が少ないと思いました。今後は市や私たちのような団体が、学生などの若い世代のかたと関わる機会が増えれば良いと思います。</p> <p>また、報告書の6ページの「E S Dユネスコスクール数」という指標の長期目標値が2校ですが、9校あるうちの2校ということで、この目標数値は低いのではないかと思います。</p>
環境政策係長	<p>各指標の長期目標値は、平成26年度に実施した環境基本計画中間見直しの際に確認を行ったものですので、年次報告書の中で修正することは難しいです。しかし今後、市内の小学校のE S Dユネスコスクールへの申請が増えることがあれば、目標値の修正も必要かと思えます。</p> <p>なお、E S Dユネスコスクールとして登録されるためには、運営団体に英語で記載した申請書を提出することなど、その申請の難しさについて以前の環境審議会の際にお話を伺っております。</p>
藤井委員	<p>旭小学校は今年の2月にE S Dユネスコスクールとして登録されました。今回の申請時期では、申請した学校は全国で40校しかなく、愛知県内で認められた小学校は旭小学校だけでした。申請は一昨年の10月に実施しておりましたが、やっと登録ができたところです。尾張旭市内では現在申請中の学校が1校あると聞いておりますが、こちらについてはまだ審査中とのことでした。</p>
議長	<p>いまのお話ですと、登録されたことはとても素晴らしいことですので、もっと広報などで周知したほうが良いと思いました。</p>
松本委員	<p>年次報告書の表紙のポスターは展示会などをされているのでしょうか。</p>
環境課長補佐 川本	<p>表紙のポスターはクリーンシティ推進運動に関連して毎年9月から10月頃に募集し、今年度は12月に市役所ロビーで展示を行いました。また、ロビーでの展示終了後は環境事業センター内で一定期間展示を行っております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他に意見はございませんか。それでは事務局の皆さま、来年度の年次報告書を作成する際は、ただいまのご意見などを参考にさせていただきたいと思えます。また、困ったことがあれば、環境審議会の委員に協力を求めてもいいと思えますので、何かあればお声掛けください。</p>

それでは続いて、次の報告事項に移りたいと思います。事務局から説明願います。

環境政策係長

それでは、報告事項の2「平成29年度重点取り組み事項」について、ご説明させていただきますので、タイトルに「平成29年度重点取り組み事項」と記載されたA3ヨコの資料をご覧いただきたいと思います。

この次年度の重点取り組み事項につきましては、毎年、当審議会へのご報告しており、毎回、実施に当たってのアドバイスなどを頂戴しているところでございます。

なお、これらの取り組み事項の根拠となる「来年度の予算」につきましては、現在市議会において審議されており、まだその実施は確定しておりません。このため、先日発表された来年度予算の概要等に基づき、資料を作成しましたので、ぜひこの内容に対し、ご助言などをいただければと思います。

それでは、その詳細について、担当から説明させていただきます。

堀部主事

それでは、私から「平成29年度重点取り組み事項」についてご説明させていただきます。

細かな文字の資料で大変恐縮ですが、環境基本計画の施策の体系に基づき、来年度の重点取り組み事項をまとめております。

なお、資料の左半分が、「環境基本計画の施策の体系」でございまして、5つの「分野別目標」と、14の「施策」、そして39の「みんなの取り組みの区分」を掲載しております。

また右半分には、来年度の主な重点取り組み事項を、「分野別目標」の区分ごとにまとめております。

それでは、順にご説明させていただきたいと思います。まず分野別目標「1 学び広げるまちづくり」に関連する事業としましては、まず1点目として、「環境学習に関するチラシの作成や、「森の学舎」を継続して実施」することとしております。このことにつきましては右上に「参考①」と記載された資料をご覧ください。環境学習に関するチラシは、私ども環境課のほか、産業課と都市整備課、そして愛知県森林公園の運営等を担当している「ウッドフレンズグループ」様と連携し、市内で開催予定のイベントを一覧にして、四半期ごとにまとめたもので、今年度新たに作成したものです。このチラシにつきましては、来年度以降も継続して作成をし、多くの市民の皆さんに環境学習講座に参加いただけるよう努めます。

「参考①」は平成29年度第1四半期に配布予定のチラシの内容となっております。また、同じく今年度新たに取り組みました環境学

習講座の「森の学舎」の内容につきましては、右上に「参考②」と記載された資料をご覧ください。同資料の参加者の意見にありますように、「森の学舎」は参加者のかたから好評いただきましたので、来年度も継続して実施したいと考えております。

続いて、「平成29年度重点取り組み事項」というタイトルの資料に戻りまして、分野別目標1の2点目に「市と地域のパイプ役となり、まちづくりの手助けをする校区担当職員を全ての小学校区に配置」することとしております。校区担当職員とは、市と地域のパイプとしての役割をもち、地域情報の収集や行政情報の提供を行う職員のことです。この校区担当職員を全ての小学校区に配置することで、連合自治会長の活動をサポートし、地域と行政の風通しの良い関係づくりを目指します。

そして3点目に「地域活動の拡充を目指し、自治会等活動促進助成金の見直しを実施」としてしております。自治会等活動促進助成金は、環境保全活動など、対象となる事業について応募のあった自治会や町内会などに交付する助成金ですが、平成29年度からは初めて申請をされる自治会などへの助成率を引き上げ、地域活動の拡充を目指します。

続いて、4点目に「図書館に環境に関する特集展示コーナーを設置」することとしております。現在図書館では1階ロビーに月別のテーマで特集を組んだ展示コーナーを設置しておりますが、こちらに環境に関するテーマの展示を行う予定です。具体的には、6月は自然環境や地球温暖化に関連する特集、7月は生物多様性に関する特集、そして10月は「リデュース・リユース・リサイクルの3Rでゴミを減らそう」という環境省が行う推進月間にちなみ、ゴミの減量やリサイクルの特集展示を行いたいと考えております。

続いて分野別目標の2「ごみのないまちづくり」に関連する事業として、1点目に「ごみの分別方法やごみ出し日などの情報をスマートフォンで簡単に検索できるよう、「ごみ出しアプリ」を活用した情報発信。」としております。ごみの分別方法やごみ出し日を簡単に検索できるよう「ごみ出しアプリ」の配信を昨年9月から開始しましたが、29年度も引き続きアプリの運用を予定しております。

次に2点目として「リサイクル広場持ち込み分のみ回収していた小型家電について、市内公共施設5か所にも回収ボックスを設置。」としております。小型家電は燃えないゴミとして出していただけですが、これを環境事業センター内リサイクル広場にお持ち込みいただくことで、その一部をリサイクルすることが出来ておりま

す。このリサイクルを促進するため、市役所、渋川福祉センター、東部市民センター、スカイワードあさひ、新池交流館ふらっとの5か所に小型家電の回収ボックスを設置します。

そして3点目として「リユースの促進を図るため、故障の無い自転車に加え、軽微な修繕で使用可能な自転車の提供を試行。」としております。現在、放置自転車や粗大ごみとして回収した自転車のうち、回収時に故障の無い自転車を環境事業センターのリユースコーナーで希望者にお渡ししています。この自転車の提供について、回収時に故障があるものについても、軽微な修繕で使用可能になるものはリユース品として提供することを検討いたします。

次に4点目として「火災等の事故防止や、安全な排出のため、スプレー缶類（スプレー缶、カセットボンベ）を資源として分別収集。」としております。昨年10月からスプレー缶とカセットボンベの分別収集を開始しましたが、まだ分別収集について知らないかたもいらっしゃいますので、来年度も周知を図っていきます。周知の方法としましては、毎年作成しております「ごみの出し方」というごみの分別についてまとめた冊子の中に危険ごみの出し方を新たに掲載します。また、毎月1日に発行される広報あさひの最終ページにごみ出しの日程を掲載しておりますが、そちらに危険ごみの収集日を記載するとともに、分別して回収している旨注意書きをする予定です。

続いて5点目として「可燃ごみの減量と、市民サービスの拡充を図るため、プラスチック製容器包装を毎週収集。」としております。プラスチック製容器包装の毎週収集は昨年7月から市内全域で開始しました。それまでは毎月2回の収集でしたが、プラスチック製容器包装が多くでる家庭では、毎月2回では足りないという声がありました。毎週収集にすることで、可燃ごみにプラスチック製容器包装を混ぜて出すかたが減り、可燃ごみの減量にもつながると思いますので、来年度も継続して実施いたします。

次に6点目として「今後想定される地震災害及び風水害に対して、大量に発生する廃棄物を適正かつ迅速に処理するため、災害廃棄物処理計画を策定」としております。この地域では、南海トラフ地震の発生が懸念されており、この地震によって本市にも甚大な被害があると想定されています。そのため、今後想定される地震災害や風水害に対して、大量に発生する廃棄物を適正かつ迅速に処理することで、市民の皆さんの衛生的な生活環境を保ち、早期の復旧・復興を行うための計画策定が必要となるため、この事業を実施します。

そして7点目として「市民の利便性向上を図るため、晴丘センターへの持ち込みに限られていた破碎不適物（ブロック、レンガ、タイル、つけもの石、物干し台、側溝の蓋、かわら）の、粗大ごみとしての回収を実施。」としております。これまでは、ブロックやれんがなどの破碎不適物は市で収集できないものとしており、市民の皆さまに直接晴丘町にある晴丘センターへ搬入してもらうようお願いしてはいましたが、粗大ごみとして回収をすることで、市民の利便性向上や不法投棄物の減少を図りたいと考えております。

続いて分野別目標の3「地域で地球を考えるまちづくり」に関連する事業として、1点目に「道路照明灯及び都市公園等の照明灯について、リース契約を利用したLED化を実施。」としております。リース契約により、単年度での多額な支出を防ぎ、道路照明として約840基、都市公園等の照明として約230基のLED照明を一括で設置することが可能となることで、ランニングコストの削減や二酸化炭素排出量の削減を期待することができます。

2点目に、「尾張旭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改訂し、4月から実施。」としております。地球温暖化対策実行計画は、国の地球温暖化対策計画に即して策定するもので、地方公共団体が自らの事務事業に伴い発生する温室効果ガスの排出削減等について定める「事務事業編」と、その区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策についての「区域施策編」があり、本市は「事務事業編」について、その策定が義務となっております。これまでは本市で作成した環境マネジメントシステムのマニュアルをもって地球温暖化対策実行計画の「事務事業編」としてはりましたが、昨年5月に国が温室効果ガスの排出削減目標を示したことなどから、「尾張旭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を改訂し、平成29年度から運用いたします。

なお、区域施策編は特例市以上の規模の市に策定義務があり、本市ではその策定は努力規定となっておりますが、今後策定について検討する際には、広く皆様のご意見をいただくことになろうかと思っております。

3点目に、「市道南栄3号線及び都市計画道路霞ヶ丘線の整備を推進。」としております。具体的には、新池の西側を通る市道南栄3号線の車道及び歩道の拡幅整備や、霞ヶ丘町を横断する都市計画道路霞ヶ丘線の整備を行い、交通の安全確保や道路の渋滞解消を図ります。また、都市計画道路霞ヶ丘線の整備により、平成31年春に開催予定の全国植樹祭の会場となる愛知県森林公園までのアクセス環境の向上も見込まれます。

次に4点目として「公共施設や家庭での緑のカーテン事業を実施。」としております。オフィスや家庭からの温室効果ガス排出削減が求められていることから、緑のカーテン事業を実施し、省エネルギー意識の高揚を図ります。今年度市役所南庁舎に設置した緑のカーテンにつきましては、愛知県が実施している「あいち緑のカーテンコンテスト」に写真を送って応募し、審査委員特別賞を受賞しました。このような賞がもたらえたことは、緑のカーテンのPRにもなりますので、来年度も入賞できるよう取り組みたいと思います。

そして5点目として「家庭への太陽光発電及び省エネルギー設備の導入を促進。」としております。具体的には、住宅用太陽光発電設備のほかに、家庭用エネルギー管理システムであるHEMS、家庭用燃料電池システムであるエネファーム、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等充電設備など5項目の設備の設置補助を行い、家庭におけるCO₂排出削減を促進いたします。

続いて分野別目標の4「自然とふれあうまちづくり」に関連する事業として、1点目に「平成31年春に愛知県森林公園で開催される「第70回全国植樹祭」の関連事業を実施。」としております。全国植樹祭につきましては右上に「参考③」と記載された資料をご覧ください。全国植樹祭は昭和25年に開催されて以来毎年春に開催されている行事ですが、この全国植樹祭が平成31年春に愛知県森林公園で開催されることが昨年11月に正式決定しました。愛知県での開催は約40年ぶりで、尾張旭市内での開催はこれが初めてとなります。本市ではこの「第70回全国植樹祭」を積極的にPRしていきます。PRの内容としましては、開催地である「愛知県森林公園」における取組の歴史や魅力を伝えるリーフレットの作成や、これまでも実施している「緑の募金」の推進を予定しております。また、市民の皆さんとともに植樹祭を盛り上げるため、全国植樹祭あさひサポーターを募集します。この全国植樹祭あさひサポーターには、関連事業に関する情報を提供し、事業への参加や協力をお願いします。

それでは「平成29年度重点取り組み事項」の資料に戻ります。分野別目標の4の2点目として「ため池の耐震化の推進や、老朽化した取水施設の改良工事を実施。」としております。このことについては、県が事業主体となり実施する大森池及び雨池の耐震工事の事業費の一部負担や、県の耐震工事に合わせて、老朽化した取水施設の改良工事を実施するものです。

そして3点目として「尾張旭市指定文化財のマメナシ・アイナシに関する調査を実施」することとしています。マメナシ及びアイナ

シは、東海地方のため池周辺などの湧き水のある場所で生息しており、4月に開花し、小さな実をつけます。城山町にある長池はマメナシのまとまった自生地となっており、また全国的にも希少なアイナシの自生地でもあり、市の天然記念物に指定されております。この貴重な長池のマメナシ及びアイナシ自生地を保護育成していくために、専門家の診断を委託します。

次に4点目として、「各校区社会福祉推進協議会が実施するごみゼロ運動におけるオオキンケイギクの駆除への協力依頼や、オオキンケイギクに関する記事の広報への掲載を実施。」としております。オオキンケイギクは、日本在来の植物と競合し、生態系に対する影響が大きいことから「特定外来生物」に指定された植物です。各小学校区の社会福祉推進協議会に、ごみゼロの日にイベントの一環としてオオキンケイギクを駆除していただくよう協力を依頼するほか、市の広報にオオキンケイギクに関する記事を掲載し、オオキンケイギクの発生抑制に努めたいと考えております。

続いて分野別目標の5「暮らしやすい快適なまちづくり」に関連する事業として、1点目に「桜ヶ丘地区、平子ヶ丘地区、本地ヶ原地区、向地区での下水道整備を推進。また。長坂町南山地区、北原山地区での下水道整備の実施設計業務を委託。」としております。下水道整備につきましては平成28年度以前からの継続事業ですが、平成29年度は今申し上げました内容の事業を進め、生活環境の改善や、水洗化の普及促進を図ります。

次に2点目として「西部処理区の事業計画区域拡張に伴う、西部浄化センターの増設工事を推進。」することとしております。こちらは、尾張旭市西部処理区内における汚水整備の推進に伴い、流入水量の増大が見込まれるため、西部浄化センターの処理能力が不足しないよう、水処理施設の増設を実施するものです。

そして3点目として「宮下橋の耐震補強を実施。」としております。昭和46年に建設された宮下橋は、市中央部を南北に走る市道に架かっており、矢田川を跨ぎ市の中央部と南部を連絡する重要な役割を担っています。また、こちらの市道は市の緊急輸送道路に指定されているため、災害時においても重要な役割を担うことが期待されています。過去に落橋防止装置が設置されておりますが、今回さらに耐震性能の向上を図るため、橋脚についても耐震対策を施します。

次に4点目として、「三郷駅周辺のまちづくりを推進。また、旭前駅のバリアフリー化整備を実施。」としております。三郷駅については、駅前広場を含む駅周辺のまちづくりの事業化に向け、現地

測量を行う予定です。また、利用者が年々増加傾向にある旭前駅につきましては、鉄道事業者と連携を図りバリアフリー化整備を行います。主な整備としましては、駅北側宿舎、改札、北側スロープ及び南側スロープの整備を行います。また、旭前駅の利便性向上のため、駅構外に公衆用トイレを整備します。

そして5点目として「公共施設等の総合的かつ計画的な管理を目指し、ファシリティマネジメントを推進」することとしております。本市に存在する全ての公共施設等を中長期的な視点で財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の適正配置を目指していくための基本的な考え方や方向性を示す「尾張旭市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の管理計画をマンガで示したパンフレットの作成による市民周知を図るなど、計画に関連する事業を進めます。

次に6点目として「動物愛護の啓発推進のため、犬猫の殺処分に関する絵本を公共施設に配架。」としております。こちらにつきましては右上に「参考④」と記載された資料をご覧ください。「参考④」は、事業者が、豊橋市の小学生が描いた「78円の命」という作文を絵本にし、殺処分について考えてもらうというプロジェクトのホームページの一部を抜粋したものです。本市ではこのプロジェクトに関し、公共施設に絵本を配架するという形で協力をしようと考えております。

以上、説明が長時間にわたり大変恐縮ですが、来年度の重点取り組み事項について、ざっとご説明させていただきました。

これらの取り組みを進めることによって、環境基本計画に掲げる各種施策の推進へとつなげてまいりたいと考えておりますが、より効果的な内容とするため、委員の皆さんの豊富な知識やご経験を踏まえ、ぜひアドバイス等をしていただけると幸いです。説明は以上でございます。

議長

ただいま事務局から、「平成29年度重点取り組み事項について」の報告がありました。

これらの事業を実施するにあたり、皆様のこれまでのご経験や、お勤め先での実際の取り組み事項などを参考に、何かアドバイスなどがありましたら、ぜひともご発言いただきたいと思います。

松本委員

分野別目標4の4つ目のオオキンケイギクに関することですが、森林公園では月に2回ほど花がでているものを摘んでおります。しかし、このオオキンケイギクの繁殖源となっているところが、おそらく愛知用水の内側です。セメントで囲まれた隙間にオオキンケイギクが咲いており、対処された形跡もございません。こちらからは

	<p>愛知用水の管理者へ依頼をすることが出来ないため、ぜひ市から愛知用水の管理者へお願いをしてもらえないでしょうか。また、駆除をすることとしても、ただ刈り取るだけではなく根っこから引き抜かないと、なかなか改善はされません。</p>
環境課長補佐 山田	<p>愛知用水の関係ですと、市民から雑草の苦情を受け、市から刈取依頼をすることがありますが、愛知用水の管理者のお話ですと、予算の都合上秋頃に一斉に実施するとのこと。一方、オオキンケイギクは春に花が咲き始めますので、依頼をするのであれば、春になるかと思いますが、先ほどのお話もあり、対応を期待することは厳しいかもしれません。しかし、依頼をしないと始まらない話ですので、今後は駆除の依頼を検討したいと思います。</p>
議長	<p>市から依頼をするだけではなく、市民から直接管理者へ依頼をするほうが効果的な場合もあるかもしれません。</p>
松本委員	<p>同じく外来種のタカサゴユリも愛知用水内には生えています。依頼する際は年に1回対処するだけではなく、根絶するための対応を考えて欲しいと思います。</p>
議長	<p>依頼の方法などは一度事務局のほうで検討していただきたいと思っています。</p>
藤沢委員	<p>環境基本計画に関する重点取り組み事項として資料を見たときに内容がマッチしていないと思った取り組みが4点あります。</p> <p>1点目は分野別目標3のため池の耐震化のことで分野別目標5の宮下橋の耐震補強に関することです。これらの事業は環境というよりは防災に関することだと思います。次に2点目に、分野別目標3の霞ヶ丘線のことですが、これは渋滞への対策だと思います。確かに、自動車による環境負荷の削減になるという観点もあるとは思いますが、主には渋滞対策になるので、ここに記載する必要がないと思います。そして3点目に、分野別目標5のファシリティマネジメントは、建物をどのように有用させるかという話だと思います。4点目は分野別目標1の環境学習に関するチラシの内容です。チラシには環境学習講座と書いてありますが、開催する講座には「⑦紙飛行機を飛ばして健康になろう」のように環境と関係がない講座があると思います。他にも「⑩矢田川さんぼみち春のウォーキング大会」や「⑭スプリングフェスタ」などの講座も環境と関係ないのではないかと思います。</p>
環境政策係長	<p>ため池の耐震化につきましては、事業の性質としては防災のことだと思いますが、周辺整備も含めて行うことから、水辺の保全という側面がありますのでこちらに記載しています。宮下橋の耐震補強やファシリティマネジメントシステムにつきましては、良好な生活</p>

空間づくりとしての側面をもっていると考え記載しました。

霞ヶ丘線に関する事業ですが、事業を実施する理由としては、環境のために実施することではなく、渋滞解消などの交通整備が理由かと思いますが、藤沢委員のおっしゃるとおり、自動車による環境負荷の削減という側面もあると考えられるため記載しております。

そして、環境学習のチラシに関することですが、確かに環境と直接関係しない講座もありますが、そのような講座も掲載することで、例えば「㊦矢田川さんぽみち春のウォーキング大会」に参加したいかたがこのチラシを見て、他にもいろいろ講座をやっているんだなあと気づいてもらえるかもしれません。そのように、このチラシが気づきの機会になれば良いと考えています。

松本委員

霞ヶ丘線の整備やファシリティマネジメントのことは、今おっしゃった観点だけでは不十分だと思います。例えば愛知工業大学の前の道路はのり面を全部地元の木で植樹しております。このように、ただ道路整備をする際に交通の便を良くすることだけを考えるのではなく、環境にどのように配慮すべきかを考えるべきです。また、ファシリティマネジメントに関連する事業としては、建物を建てる時に渡り鳥が住むことができる空間を設けるなど、同じく環境に配慮した事業を同時に行うべきだと思います。

次に、環境学習のチラシのことですが、ウォーキングは環境に関することだと思います。なぜなら自然の中をウォーキングすることによって気づくことや、大人と子どもと一緒にウォーキングすることで子どもへ伝えられることなどがあるからです。講座を主催する側のかたもこのような側面があると理解していて欲しいです。

議長

例えば、ため池の耐震化のことですと、「耐震化」という言葉から防災のことばかりが連想されますが、そもそもなぜため池を残すのか、ということを考えることが環境に関係してくると思います。

環境を保全するためにため池を残す。そして、残すために耐震化が必要。というように環境とどうリンクしているのかわかるように整理する必要があると思います。

次に環境学習講座の件ですが、類似した取り組みとしてなごや環境大学というものがあります。このなごや環境大学におきましても、道路景観に関する講座など、環境という枠を広げて様々な講座を行っていますので、同じように広くとらえていいと思います。また、講座の参加者が環境に関して何かを感じてくれるよう、メッセージを残す知恵があればより良くなるのではないかと思います。

ファシリティマネジメントは古い施設をどう管理していくかという話ですが、古いからこそ周辺施設とどうマッチングしていくかと

	<p>いう話があると思います。ため池のこともそうですが、環境とどうリンクしているのかということがこの取り組み事項の中に記載されていけば見やすくなると思います。また、担当課にこういう側面もあるという意識をもってもらえるように周知したほうが良いと思います。</p>
松本委員	<p>建物整備や道路整備を所管する部署では、環境の側面を意識して事業を行っていることがほとんどないということが現実だだと思います。そういった部署に環境の側面について話ができるのは環境課だと思いますので、ぜひそういう対応をとっていただきたいと思います。</p> <p>また、愛知県生物多様性戦略2020という計画では、愛知県が目指す環境への取り組みに関することが記載されていますので、ぜひこちらを参考に、市民や民間事業者などと連携して事業を進めて欲しいと思います。</p>
環境政策係長	<p>各担当部署に、環境の側面としてどういったことがあるのか、ということを知ることができるよう検討したいと思います。</p>
議長	<p>他に意見はございませんか。</p>
野町委員	<p>私が住んでいるところではプラスチック製容器包装の毎週収集は行っておりませんので、毎週収集は非常に良い取り組みだと思いました。また、分別をしているとごみを減らしているという実感が持てますし、説明にありましたように、燃えるごみと一緒に出されてしまう資源ごみが減り、資源化率があがると思いますので、継続して実施して欲しいと思います。</p>
議長	<p>このような収集の変更については回覧板で周知されるのでしょうか。私が住むところでは、時々間違えてごみが出され、残された状況を見たことがあります。</p>
環境課長補佐 川本	<p>確かにまだごみの出し方を正しくご存じないかたもいらっしゃいます。特に若い世代のかたがご存じないということがありますので、その対応の1つとして、重点取り組み事項にも記載しましたごみ出しアプリの配信を行い、ごみ出しに関する周知を行いたいと思います。また、ごみ出しアプリ自体の周知も考えています。</p>
松岡委員	<p>水辺の環境整備というところで、香流川では子どもたちが川のすぐ近くまで降りていけるように整備されていますが、尾張旭市では川の付近にそういう整備がないので、そのような整備がされるといいと思います。</p>
議長	<p>川の整備となると、安全面の確保など、河川管理との関係も考慮する必要があると思います。</p>
野町委員	<p>最近、雨が降ったら上流が危険になるという危機意識がなくな</p>

ってきていると言われているそうです。個々人が川に対する危機意識を持てるよう周知することができれば、川のすぐ近くまで降りられるための整備も出来るようになるのではと思います。

廣瀬委員

水辺の保全に関連し、年次報告書の中で濁池浸水施設整備と書いてありましたが、整備の結果野鳥が寄り付かないようなものになってしまったと思います。

親水施設の整備等を今後する場合には、野鳥や生物が寄り付かないようなものにならないよう配慮して欲しいと思います。

議長

親水と自然をどう上手く組み合わせるのかということですが、管理する側としては安全面を考えないといけませんし、利用する側の観点からすると、人間にだけ便利なものとするのが正しいのかということもあります。このように様々な観点に目を配りながら整備を進めないといけないと思います。

他に、ご意見やご助言はございませんか。

それでは、ただいまのご意見やアドバイスなどを踏まえながら、鋭意取り組んでもらいたいと思います。

なお、それぞれの事業の実施に当たっては、委員の皆さんにもお世話になる機会があるかと思しますので、なにとぞご助力くださるようお願いします。

それでは以上で、本日の議題は全て終了しました。

最後に会議次第の3、「その他」について事務局から説明してください。

環境課長補佐
山田

長時間にわたってご審議を賜り、誠にありがとうございました。

本日の結果を踏まえ、1点目の報告事項の際にいただきましたご意見は来年度の年次報告書作成の際の参考とさせていただきます。

また、2点目の「来年度の重点取り組み事項」につきましても、本日頂戴したご意見等を踏まえ、鋭意推し進めてまいりたいと思いますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

それでは「その他」といたしまして、次回の審議会のご案内をさせていただきます。

今回は、毎年ご確認いただいております「環境基本計画の年次報告」等を議題として、10月、11月ごろに開催させていただきたいと考えております。

また、その際には、本日ご覧いただいた「重点取り組み事項」の進捗状況を踏まえ、再度ご助言等をお聞かせいただければと考えております。

なお、詳細な開催日程につきましては、改めてご案内させていただきます。

だきますので、引き続きなにとぞよろしくお願ひいたします。

説明は以上でございます。

議長

ただいま事務局から説明がありましたとおり、次回の審議会は、10月、11月ごろに開催されるとのことでもあります。皆さんお忙しい中かと思いますが、ご協力くださるようお願いいたします。

それでは、これもちまして、平成29年第1回尾張旭市環境審議会を閉会といたします。皆さん長時間にわたり大変お疲れ様でした。